

JMECC 指導者講習会「指導要綱」差分一覧

- 変更箇所は下線または赤字で表示しています。
- 箇条書き記号および番号の変更履歴は割愛しています。
- 大文字小文字、半角全角の変更履歴は割愛しています。
- 表紙および目次のページは割愛し、3 ページ目からになります。
- 左枠(項目)の“頁”は改訂版のページです。

頁	改訂版	現行版
3	<p>I JMECC 指導者講習会(インストラクターコース)概論 プレテスト 解答と解説 座学 15分</p> <p>○目標 JMECC 指導者講習会(インストラクターコース)の目的を理解する。</p> <p>○進行 スライドを用いて以下の事項を解説する。</p> <p>□JMECC について □JMECC は「日本救急医学会認定 ICLS コース」と「内科救急対応」を統合した講習会である。</p> <p>□JMECC 指導者講習会(インストラクターコース)の目的 □JMECC において“コース目標を達成するための指導ができる”インストラクターを育成する。</p> <p>□「ICLS」「JMECC」のコース目標を理解する。 ICLS コース目標</p>	<p>I JMECC 指導者講習会(インストラクターコース)概論 プレテスト 解答と解説 座学 15分</p> <p>【目標】 ■JMECC 指導者講習会(インストラクターコース)の目的を理解する。</p> <p>【進行】スライドを用いて以下の事項を解説する。</p> <p>□JMECC について ◆JMECC は「日本救急医学会認定 ICLS コース」と「内科救急対応」を統合した講習会である。</p> <p>□JMECC 指導者講習会(インストラクターコース)の目的: ◆JMECC において“コース目標を達成するための指導ができる”インストラクターを育成する。</p> <p>◆「ICLS」「JMECC」のコース目標を理解する。 ・ICLS コース目標</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生を習得する。</p> <p>JMECC コース目標 日常臨床で遭遇する予期せぬ容態悪化に対応する能力を実践型教育によって習得する。</p> <p><input type="checkbox"/> コースにおけるインストラクターの「役割」を理解する。 <input type="checkbox"/> 受講者がコース目標を達成できるように指導する。 <input type="checkbox"/> コースでは「プレゼンター」「チェッカー」「オペレーター」などを担当する。</p> <p><input type="checkbox"/> コースにおけるインストラクターの指導内容と指導方法の「重要性」を理解する。 <input type="checkbox"/> JMECC コースの成否は、インストラクターの指導に依存することを理解する。</p> <p><input type="checkbox"/> 成人教育手法を用いて効果的な指導を実践する。 <input type="checkbox"/> コース目標達成のための効果的な成人教育手法を習得する。</p> <p><input type="checkbox"/> プレテストの解答と解説を行う <input type="checkbox"/> 終了後、ブース長は担当ブースの解答用紙を回収して、実技指導の参考とする。 <input type="checkbox"/> コース終了後にディレクターに提出する。</p>	<p>-突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生を習得する</p> <p>・JMECC 目標 -日常臨床で遭遇する予期せぬ容態悪化に対応する能力を実践型教育によって習得する。</p> <p>◆コースにおける インストラクター の「役割」を理解する。 ・受講者がコース目標を達成できるように指導する。 ・コースでは「プレゼンター」「チェッカー」「オペレーター」などを担当する。</p> <p>◆コースにおける インストラクター の指導内容と指導方法の「重要性」を理解する ・JMECC コースの成否は、インストラクターの指導に依存することを理解する。</p> <p>◆成人教育手法を用いて効果的な指導を実践する。 ・コース目標達成のための効果的な成人教育手法を習得する。</p> <p><input type="checkbox"/> プレテストの解答と解説を行う ⇒終了後、ブース長は担当ブースの解答用紙を回収して、実技指導の参考とする。 コース終了後にディレクターに提出する。</p>
4	II 成人教育技法、フィードバックについて 座学 10 分	II 成人教育技法、フィードバックについて 座学 10 分

頁	改訂版	現行版
	<p>○目標 コース目標達成のための効果的な成人教育手法を習得する。</p> <p>○進行 スライドを用いて以下の事項を解説する。</p> <p>□成人教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> □“一方的に情報を伝達する”指導ではない。 □学童を対象とした一方的な講義では効果的な成果は得られない。 □“受講者の学習を促進する”指導を実践する。 □受講者の直面する問題を解決できる内容(状況)を提示する。 □効果的に質問することで、受講者自身による「気づき」「内省」を促す。 □学習目標を明確に提示する。 □学習目標を明確にすることで受講者の「動機付け motivation」を促す。 □受講者の知識、経験を尊重する。 □個々の受講目的、知識、経験、社会的背景を考慮した指導を行う。 □効果的なフィードバックを実践する。 □簡潔明瞭、適切なタイミングで、受講の背景に関連づけたフィードバックが望ましい。 □否定的な言動や威圧的態度をとらない。 	<p>【目標】</p> <p>■コース目標達成のための効果的な成人教育手法を習得する。</p> <p>【進行】</p> <p>スライドを用いて以下の事項を解説する。</p> <p>□成人教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆“一方的に情報を伝達する”指導ではない。 ・学童を対象とした一方的な講義では効果的な成果は得られない。 ◆“受講者の学習を促進する”指導を実践する。 ・受講者の直面する問題を解決できる内容(状況)を提示する。 ・効果的に質問することで、受講者自身による「気づき」「内省」を促す。 ◆学習目標を明確に提示する。 ・学習目標を明確にすることで受講者の「動機付け motivation」を促す。 ◆受講者の知識、経験を尊重する。 ・個々の受講目的、知識、経験、社会的背景を考慮した指導を行う。 ◆効果的なフィードバックを実践する。 ・簡潔明瞭、適切なタイミングで、受講の背景に関連づけたフィードバックが望ましい。 ◆否定的な言動や威圧的態度をとらない。

頁	改訂版	現行版
	<p>□受講者の「動機付け」を促進するような態度で臨むこと。</p> <p>□時間を有効的に活用する。/ 時間を厳守する。</p> <p>□「目的提示」「実習」「まとめ」それぞれの時間配分に注意し、時間厳守を心掛ける。</p> <p>□受講者の実習に多くの時間を費やす。</p> <p>□指導ポイントを明確にし、実習(体験)を通して知識技術の習得を促す。</p> <p>以上の事項に注意しつつ指導にあたる必要であり、受講者にとって「良い体験」、「良い印象」、「説明より実習」が記憶の定着(→臨床での実践)につながることを強調する。</p>	<p>・受講者の「動機付け」を促進するような態度で臨むこと。</p> <p>◆時間を有効的に活用する。/ 時間を厳守する。</p> <p>・「目的提示」「実習」「まとめ」それぞれの時間配分に注意し、時間厳守を心掛ける。</p> <p>◆受講者の実習に多くの時間を費やす。</p> <p>・指導ポイントを明確にし、実習(体験)を通して知識技術の習得を促す。</p> <p>以上の事項に注意しつつ指導にあたる必要であり、受講者にとって「良い体験」、「良い印象」、「説明より実習」が記憶の定着(→臨床での実践)につながることを強調する。</p>
5	<p>□注意事項</p> <p>□指導要綱・テキストの内容を遵守する。</p> <p>□JMECCにおいて、指導要綱とテキスト「内科救急診療指針」に準拠した内容を指導する。</p> <p>□上記以外の内容を話す際には、必ずことわりを入れる。</p> <p>□指導内容を熟知する。</p> <p>□JMECCにおいて、指導要綱とテキスト『内科救急診療指針』に準拠した内容を熟知していることが絶対条件である。</p> <p>□『内科救急診療指針』 □『ICLS コースガイドブック』</p> <p>□『ICLS 指導者ガイドブック』 □『JMECC 指導要綱』</p> <p>※指導する際には指導要綱を手を持たなくても指導できるようにす</p>	<p>□注意事項</p> <p>◆指導要綱・テキストの内容を遵守する。</p> <p>・JMECCにおいて、指導要綱とテキスト「内科救急診療指針」に準拠した内容を指導する。</p> <p>・上記以外の内容を話す際には、必ずことわりを入れる。</p> <p>◆指導内容を熟知する。</p> <p>・インストラクターが内容を熟知していることが絶対条件である。</p> <p>『内科救急診療指針』、『ICLS コースガイドブック』、『ICLS 指導者ガイドブック』</p> <p>『JMECC 指導要綱』</p> <p>※指導する際には指導要綱を手を持たなくても指導できるようにす</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 誤りを教えたり、ごまかしたりしてはいけない。 <input type="checkbox"/> 質問や疑問点に対して正確に回答する。 <input type="checkbox"/> 不確実な場合には、テキスト / ブース長 / ディレクターに確認する。 <input type="checkbox"/> 不容易なボディタッチや威圧的言動を避ける。 <input type="checkbox"/> ハラスメントと取られる言動を避け、受講者の積極的な学習を促進する環境を提供する。 <input type="checkbox"/> 解説や自らの経験談に終始しない。 <input type="checkbox"/> 解説は受講者の知識や経験をもとに簡潔明瞭に行う。 <input type="checkbox"/> JMECC では病態や治療方法に関する検討や議論が目的とはしない。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 誤りを教えたり、ごまかしたりしてはいけない。 ・ 質問や疑問点に対して正確に回答する。 不確実な場合には、テキスト / ブース長 / ディレクターに確認する。 ◆ 不容易なボディタッチや威圧的言動を避ける。 ・ ハラスメントと取られる言動を避け、受講者の積極的な学習を促進する環境を提供する。 ◆ 解説や自らの経験談に終始しない。 ・ 解説は受講者の知識や経験をもとに簡潔明瞭に行う。 ◆ JMECC では病態や治療方法に関する検討や議論が目的ではない。
6	<p>Ⅲアイスブレーキング・ 効果的な「話す」「教える」技法(説明のしかた) 座学 25分</p> <p>○目標 効果的な「話す」「教える」技法を理解し実践できる。</p> <p>○準備するもの <input type="checkbox"/> 説明物品*(ストップウォッチ、はさみ、のり、お菓子、懐中電灯…) *講習会と全く関係ないものが望ましい。 <input type="checkbox"/> 椅子、ホワイトボード、ペン</p> <p>○進行</p>	<p>Ⅲアイスブレーキング・ 効果的な「話す」「教える」技法(説明のしかた) 実技 25分</p> <p>【目標】 ■効果的な「話す」「教える」技法を理解し実践できる。</p> <p>【準備するもの】 <input type="checkbox"/> 説明物品※(ストップウォッチ、はさみ、のり、お菓子、懐中電灯…) ※講習会と全く関係のない物品が望ましい。 <input type="checkbox"/> 椅子、ホワイトボード、ペン、</p> <p>【進行】</p>

頁	改訂版	現行版
	<p><input type="checkbox"/> 一列に座ったインストラクター候補生を 2 人ひと組とし、交互に物品について説明してもらう(2 分/回)。毎回物品は変更することが望ましい。</p> <p><input type="checkbox"/> 説明終了後にどのように説明したかを聞き、ホワイトボードに明記する。 (最終的に以下の指導ポイントが重要であることを明確にする)</p> <p><input type="checkbox"/> 少なくとも各々2回は説明する機会を設けて、理解と自身を深めさせる。</p> <p><input type="checkbox"/> まとめ:以下の事項を伝える。 ①『指導のポイント』(下記) ②ベストな方法はなく、常に考えながら教えること ③インストラクターも事前勉強が重要であること</p> <p>○『指導のポイント』 <input type="checkbox"/> 実習を通して効果的に「話す」「伝える」ためのポイントを明確にする。</p>	<p><input type="checkbox"/> 一列に座ったインストラクター候補生を 2 人ひと組とし、交互に物品について説明してもらう(2 分/回)。毎回物品は変更することが望ましい。</p> <p><input type="checkbox"/> 説明終了後にどのように説明したかを聞き、ホワイトボードに明記する。 (最終的に以下の指導ポイントが重要であることを明確にする)</p> <p><input type="checkbox"/> 少なくとも各々2回は説明する機会を設けて、理解と自身を深めさせる。</p> <p><input type="checkbox"/> まとめ:以下の事項を伝える。 <input checked="" type="checkbox"/> 重要ポイント(下記) <input checked="" type="checkbox"/> ベストな方法はなく、常に考えながら教えること。 <input checked="" type="checkbox"/> インストラクターも事前勉強が重要である。</p> <p>【指導ポイント】(パウチ) <input type="checkbox"/> 実習を通して効果的に「話す」「伝える」ためのポイントを明確にする。</p>

頁	改訂版	現行版
	<p style="text-align: center;">指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 目的を明確にする ✓ 受講者と向き合う「アイコンタクト」 ✓ 正しい事を伝える ✓ 受講者の背景や基礎知識を把握しながら指導する ✓ 受講者の理解度を確認しながら指導する ✓ 効果的に質問をする「双方向的」・「参加型」 ✓ 受講者の五感を駆使しつつ指導する ✓ 重要な点は繰り返して説明する ✓ 時間を守る <p>講習会終了まで張り付けたままにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☑目的を明確にする ☑受講者と向き合う「アイコンタクト」 ☑正しい事を伝える ☑受講者の背景や基礎知識を把握しながら指導する ☑受講者の理解度を確認しながら指導する ☑効果的に質問をする「双方向的」・「参加型」 ☑受講者の五感を駆使しつつ指導する ☑重要な点は繰り返して説明する ☑時間を守る <p>(注)講習会終了まで貼り付けたままにする</p>
7	<p>○注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> □インストラクター候補生は出来る限り知り合いがとなり同士にならないように座る。 □「開始」・「終了」をトレーナーがアナウンスするが、インストラクター候補生は自分で時間を確認しながら説明してもよい。 □時間を厳守する。 <p>○進行例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己紹介をする。 2.ステーションの目的と進行方法を伝える。 	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> □インストラクター候補生は出来る限り知り合いがとなり同士にならないように座る。 □「開始」「終了」をトレーナーがアナウンスするが、インストラクター候補生は自分で時間を確認しながら説明してもよい。 □時間を厳守する。 <p>【進行方法の1例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己紹介をする。 2.ステーションの目的と進行方法を伝える。

頁	改訂版	現行版
	<p>「このセッションの目標は、効果的な「話す」「教える」技法を理解し実践できるようになって頂くことであり、皆様には説明の練習を繰り返し行って頂きます。」</p> <p>3. となり同士で 2 人 1 組を作り、一方に準備した物品を一つ選んでもらう。 「まず 2 人 1 組となって頂き、どちらかが物品を手にとって下さい。」</p> <p>4. 物品を持った方がインストラクター役、もう一方が受講者役となって 2 分間で物品の説明をしてもらう。 「手にした物品を相手に説明して下さい。制限時間は 2 分です。」</p> <p>5. 終了後にインストラクター役/受講者役から感想を聞きつつ、重要なポイントをホワイトボードに明記する。 「教えてみていかがでしたか?」「何か気を使ったことはありますか?」「説明を聞いて理解できましたか?」「何か気になったことはありますか?」</p> <p>6. 役割を交代し、2 分間で説明してもらう(この際あらためて物品を選んでもらう)。 「今度は役割を交代してみましよう。」</p> <p>7. 改めてインストラクター役/受講者役から感想を聞き、『指導のポイント』が実行できていたかを確認する。</p> <p>8. 4~7 を再度繰り返す。</p>	<p>「このセッションの目標は、効果的な「話す」「教える」技法を理解し実践できるようになって頂くことであり、皆様には説明の練習を繰り返し行って頂きます。」</p> <p>3. となり同士で 2 人 1 組を作り、一方に準備した物品を一つ選んでもらう。 「まず 2 人 1 組となって頂き、どちらかが物品を手にとって下さい。」</p> <p>4. 物品を持った方がインストラクター役、もう一方が受講者役となって 2 分間で物品の説明をしてもらう。 「手にした物品を相手に説明して下さい。制限時間は 2 分です。」</p> <p>5. 終了後にインストラクター役/受講者役から感想を聞きつつ、重要なポイントをホワイトボードに明記する。 「教えてみていかがでしたか? 何か気を使ったことはありますか?」「説明を聞いて理解できましたか? 何か気になったことはありますか?」</p> <p>6. 役割を交代し、2 分間で説明してもらう。(この際あらためて物品を選んでもらう)。 「今度は役割を交代してみましよう。」</p> <p>7. 改めてインストラクター役/受講者役から感想を聞き、<u>重要ポイント</u>が実行できていたかを確認する。</p> <p>8. 4-7 を再度繰り返す。</p>

頁	改訂版	現行版
	9.『 <u>指導のポイント</u> 』と「まとめ」を説明する。 10. 質疑応答。	9. 「 <u>重要ポイント</u> 」と「まとめ」を説明する。 10. 質疑応答
8	<p>IV <u>コース運営のための準備方法と資器材の取り扱い</u> 実技 25分</p> <p>○目標 JMECC で使用する <u>患者シミュレーター</u>、PC、機器の準備・操作ができる。</p> <p>○進行</p> <p><input type="checkbox"/> 部屋の準備 <input type="checkbox"/> 適切な配置</p> <p><input type="checkbox"/> <u>患者シミュレーター</u> (BLS 用) <input type="checkbox"/> 破損の有無 <input type="checkbox"/> 換気による胸郭挙上の確認</p> <p><input type="checkbox"/> AED トレーナー <input type="checkbox"/> ボタン操作による音声の調節 <input type="checkbox"/> シナリオ番号と設定 <input type="checkbox"/> バッテリー交換の方法</p> <p><input type="checkbox"/> <u>患者シミュレーター</u> <input type="checkbox"/> 設置、組み立て、接続 <input type="checkbox"/> パソコンの立ち上げ <input type="checkbox"/> 操作画面の説明 <input type="checkbox"/> 波形の出し方(待機、交換、除細動の実施などシミュレーターにより</p>	<p>IV <u>パソコン、モニター、部屋の準備方法と取り扱い</u> 実技 25分</p> <p>【目標】 ■JMECC で使用する <u>マネキン</u>、PC、機器の準備・操作ができる。</p> <p>【進行】</p> <p><input type="checkbox"/> 部屋の準備 ・適切な配置</p> <p><input type="checkbox"/> <u>マネキン</u>(BLS 用) ・破損の有無 ・換気による胸郭挙上の確認</p> <p><input type="checkbox"/> AED トレーナー ・ボタン操作による音声の調節 ・シナリオ番号と設定 ・バッテリー交換の方法</p> <p><input type="checkbox"/> <u>シミュレーター機能付きマネキン</u> ・設置、組み立て、接続 ・パソコンの立ち上げ ・操作画面の説明 ・波形の出し方(待機、交換、除細動の実施などシミュレーターにより</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 脈拍、血圧、呼吸音、音声の出し方 <input type="checkbox"/> 映像教材視聴用 PC とモニターの準備 <input type="checkbox"/> 設置、組み立て、接続 <input type="checkbox"/> パソコンの立ち上げ <input type="checkbox"/> 操作画面の説明 <p>○注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 機種やメーカーによって操作方法が異なるため、コース前にすべての資器材をチェックしなければならないことを強調する。 <input type="checkbox"/> 説明は短く、インストラクター候補生ができるだけ資器材に触れるようにする。 <input type="checkbox"/> 相手のレベルに合わせて進行する。 <input type="checkbox"/> 資器材の準備・操作法を学ぶ時間であり、シナリオ実習の時間ではない。 <input type="checkbox"/> 時間を厳守する。 	<p>異なる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脈拍、血圧、呼吸音、音声の出し方、 <input type="checkbox"/> 映像教材視聴用 PC とモニターの準備 ・設置、組み立て、接続 ・パソコンの立ち上げ ・操作画面の説明 <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 機種やメーカーによって操作方法が異なるため、コース前にすべての資器材をチェックしなければならないことを強調する。 <input type="checkbox"/> 説明は短く、インストラクター候補生ができるだけ資器材に触れるようにする。 <input type="checkbox"/> 相手のレベルに合わせて進行する。 <input type="checkbox"/> 資器材の準備・操作法を学ぶ時間であり、シナリオ実習の時間ではない。 <input type="checkbox"/> 時間を厳守する。
9	<p>V 除細動器とモニター波形診断の指導手順 実技 25分</p> <p>○目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マニュアル除細動器の準備・構成、モニター波形診断および安全・確実・迅速な除細動の手順を理解し、指導ができる。 <input type="checkbox"/> ICLS コースガイドブックと JMECC 指導要綱を遵守する。 <p>○進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マニュアル除細動器 <input type="checkbox"/> セッティング、接続方法 	<p>V 除細動器とモニター波形診断の指導手順 実技 25分</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル式除細動器の準備・構成、モニター波形診断および安全・確実・迅速な除細動の手順を理解し、指導ができる。 ■ ICLS コースガイドブックと JMECC 指導要綱を遵守する。 <p>【進行】(指導要綱参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マニュアル式除細動器 ・セッティング、接続方法

頁	改訂版	現行版
	<p> <input type="checkbox"/>電源の入れ方 <input type="checkbox"/>モニター：感度、誘導の変え方 <input type="checkbox"/>エネルギー設定 <input type="checkbox"/>パドルのはずし方、もどし方/パッドの装着方法 <input type="checkbox"/>内部放電 <input type="checkbox"/>単相性除細動器と二相性除細動器の違い </p> <p> <input type="checkbox"/>心停止のモニター波形診断 <input type="checkbox"/>心停止における除細動の適応 <input type="checkbox"/>マニユアル除細動器の使用手順 <input type="checkbox"/>安全、確実、迅速に行える </p> <p>○注意事項</p> <p> <input type="checkbox"/>機種やメーカーによって操作方法が異なるため、コース前にすべての資器材のチェックが 必要なことを強調する。 </p> <p> <input type="checkbox"/>説明を最小限にとどめ、インストラクター候補生ができるだけ資器材に触れるようにする。 </p> <p> <input type="checkbox"/>相手のレベルに合わせて進行する(必要時は基本的な手技(安全・確実・迅速な除細動)の確認についても実施する)。 </p> <p> <input type="checkbox"/>時間を厳守する。 </p>	<p> ・電源の入れ方 ・モニター：感度、誘導の変え方 ・エネルギー設定 ・パドルのはずし方、もどし方/パッドの装着方法 ・内部放電 ・単相性除細動器と二相性除細動器の違い </p> <p> <input type="checkbox"/>心停止のモニター波形診断 <input type="checkbox"/>心停止における除細動の適応 <input type="checkbox"/>マニユアル式除細動器の使用手順 ・安全、確実、迅速に行える </p> <p>【注意事項】</p> <p> <input type="checkbox"/>機種やメーカーによって操作方法が異なるため、コース前にすべての資器材のチェックが必要なことを強調する。 </p> <p> <input type="checkbox"/>説明を最小限にとどめ、インストラクター候補生ができるだけ資器材に触れるようにする。 </p> <p> <input type="checkbox"/>相手のレベルに合わせて進行する(必要時は基本的な手技(安全・確実・迅速な除細動)の確認についても実施する)。 </p> <p> <input type="checkbox"/>時間を厳守する。 </p>
10	VI気道管理の指導手順 実技 30分 ○目標 <input type="checkbox"/> 気道管理の指導項目・手順を理解し、指導ができる。	VI 気道管理の指導手順 実技 30分 【目標】 ■気道管理の指導項目・手順を理解し、指導ができる。

頁	改訂版	現行版
	<p><input type="checkbox"/> 気管挿管を安全・確実・迅速に行うための指導項目・手順を理解し、指導ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ICLS コースガイドブックと JMECC 指導要綱を遵守する。</p> <p>○ 進行(指導要綱参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 気道異物除去</p> <p><input type="checkbox"/> エアウェイ</p> <p><input type="checkbox"/> 気管挿管</p> <p><input type="checkbox"/> 酸素投与方法</p> <p>○ 注意事項</p> <p><input type="checkbox"/> コース前にすべての資器材が使用できる状態であることをチェックする。</p> <p><input type="checkbox"/> 説明を最小限にとどめ、インストラクター候補生ができるだけ資器材に触れるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 相手のレベルに合わせて進行する(必要時は基本的な手技(安全・確実・迅速な除細動)の確認についても実施する)。</p> <p><input type="checkbox"/> 時間を厳守する。</p> <p>○ 指導例</p> <p>1.ABCのうちABの異常への対応を実習する時間である。</p> <p>2.Aの異常対応について</p> <p><input type="checkbox"/> 経鼻・経ロエアウェイのサイジング、挿入方法、禁忌</p> <p>3.ABの異常への対応について</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 気管挿管を安全・確実・迅速に行うための指導項目・手順を理解し、指導ができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ICLS コースガイドブックと JMECC 指導要綱を遵守する。</p> <p>【進行】(指導要綱参照)</p> <p><input type="checkbox"/> エアウェイ</p> <p><input type="checkbox"/> 気管挿管</p> <p><input type="checkbox"/> 酸素投与方法</p> <p>【注意事項】</p> <p><input type="checkbox"/> コース前にすべての資器材が使用できる状態であることをチェックする。</p> <p><input type="checkbox"/> 説明を最小限にとどめ、インストラクター候補生ができるだけ資器材に触れるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 相手のレベルに合わせて進行する(必要時は基本的な手技(安全・確実・迅速な除細動)の確認についても実施する)。</p> <p><input type="checkbox"/> 時間を厳守する。</p> <p>指導例</p> <p>①ABCのうちABの異常への対応を実習する時間である。</p> <p>②まずAの異常への対応として、 (ア)経鼻・経ロエアウェイのサイジング、挿入方法、禁忌</p> <p>③次にABの異常への対応として、</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>□気管挿管</p> <p>① 体勢を整える(スニッフィングポジション)。</p> <p>②喉頭鏡の持ち方…喉頭鏡の根元を把持し、スナップをきかせないようにする。 脇をしめて喉頭鏡で下顎を挙上するイメージを理解させる。</p> <p>③口を大きくあける…指交差法など。</p> <p>④喉頭鏡で舌をよけて喉頭蓋を視認。</p>	<p>(ア)気管挿管</p> <p>①喉頭展開…喉頭展開とは?…下顎を挙上すること。</p> <p>②喉頭鏡の持ち方…喉頭鏡の根元を把持し、スナップをきかせないようにする。脇をしめて喉頭鏡で下顎を挙上するイメージを理解させる。</p> <p>③口を大きくあける…指交差法など</p> <p>④喉頭鏡で舌をよけて喉頭蓋を視認</p>
11	<p>⑤喉頭鏡の先端を喉頭蓋谷に進める。</p> <p>⑥喉頭鏡で下顎を挙上して、喉頭を確認する。 1)この際、中腰姿勢や前傾姿勢とならないように重心を落とす。 2)下顎の挙上によって患者はスニッフィングポジションになる。 3)喉頭鏡全体を挙上せずに梃子のように喉頭部分のみを挙上しようと手首で喉頭鏡を扱っていないか否かをチェックする。そのような場合の多くは、喉頭鏡の持ち方、脇がしまっていない、重心が下がっていないので、その修正を行う。 4)低身長のため重心を落とせない場合には、挿管シミュレーターを高い位置にするか、セミファラー位にすればよい。 ⑦喉頭が正しく展開できれば気管挿管は容易に行える。</p>	<p>⑤喉頭鏡の先端を喉頭蓋谷に進める</p> <p>⑥喉頭鏡で下顎を挙上して、喉頭を確認する。 1.この際、中腰姿勢や前傾姿勢とならないように重心を落とす。 2.下顎の挙上によって患者はスニッフィングポジションになる。 3.喉頭鏡全体を挙上せずに梃子のように喉頭部分のみを挙上しようと手首で喉頭鏡を扱っていないか否かをチェックする。そのような場合の多くは、喉頭鏡の持ち方、脇がしまっていない、重心が下がっていないので、その修正を行う。 4.低身長のため重心を落とせない場合には、挿管マネキンを高い位置にするか、セミファラー状態にすればよい。 ⑦喉頭が正しく展開できれば気管挿管は容易に行える。</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>⑧その後の気管挿管の手技と確認方法は割愛してもよい。</p> <p>4.Bの異常への対応として、酸素投与法について簡単に説明</p>	<p>⑧その後の気管挿管の手技と確認方法は割愛してもよい。</p> <p>④Bの異常への対応として、酸素投与について簡単に説明</p>
12	<p>VII BLSの指導法(ロールプレイ方式) 実技 40分</p> <p>○目標</p> <p>□効果的なBLSの指導方法を理解・実践できる。</p> <p>○準備するもの</p> <p>□患者シミュレーター(気道異物の対応も準備)</p> <p>□バッグ・バルブ・マスク</p> <p>□AEDトレーナー</p> <p>□チェックシート</p> <p>○進行</p> <p>□インストラクター候補生1名をインストラクター役、トレーナーを受講者役としてBLS指導を実践する。</p> <p>□実技2分+ディスカッション3分/回</p> <p>□役割分担</p> <p>役割 内容</p> <p>受講者役1 バッグ・バルブ・マスク換気(胸郭が挙上しない) : 原因検索と指導</p> <p>受講者役2 胸骨圧迫(浅すぎる圧迫) タイミング</p> <p>受講者役3 胸骨圧迫(遅すぎる圧迫) 客観性</p> <p>受講者役4 反応の確認~胸骨圧迫と人工呼吸(緊急通報を忘れる) 建設性</p>	<p>VII BLSの指導法(ロールプレイ方式) 実技 40分</p> <p>【目標】</p> <p>■効果的なBLSの指導方法を理解・実践できる。</p> <p>【準備するもの】</p> <p>□マネキン</p> <p>□バッグ・バルブ・マスク</p> <p>□AEDトレーナー</p> <p>□チェックシート</p> <p>【進行】</p> <p>□インストラクター候補生1名をインストラクター役、トレーナーを受講者役としてBLS指導を実践する。</p> <p>□実技2分+ディスカッション3分/回</p> <p>□受講者役1-バッグ・バルブ・マスク換気(胸郭が挙上しない) : 原因検索と指導</p> <p>受講者役2-胸骨圧迫(浅すぎる圧迫) タイミング</p> <p>受講者役3-胸骨圧迫(遅すぎる圧迫) 客観性</p> <p>受講者役4-反応の確認~胸骨圧迫と人工呼吸(緊急通報を忘れる): 建設性</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>受講者役 5 AED の操作方法 (手順を覚えていない) 上記すべて</p> <p>受講者役 6 CPR のスキルチェックとフィードバック 適宜</p> <p>□ まとめ:以下の事項を解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を明確にする。 ・ シナリオ (状況設定) が適切である。 ・ 『効果的なフィードバック』(下記)について再度確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>効果的なフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 明確 (具体的) ✓ 簡潔 ✓ 適切なタイミング ✓ 理由 (エビデンス) を提示する ✓ 受講者の背景を考慮する ✓ 否定的な言動や威圧的な態度は避ける ✓ すべての受講者を対象とする ✓ 重要な点は繰り返して説明する ✓ 時間を守る </div> <p>講習会修了まで張り付けたままにする</p>	<p>受講者役 5-AED の操作(手順を覚えていない) :</p> <p>上記すべて</p> <p>受講者役 6-スキルチェックとフィードバック :適宜</p> <p>□まとめ:以下の事項を解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑目標を明確にする。 ☑シナリオ(状況設定)が適切である。 ☑効果的なフィードバック(以下)について再度確認する。

頁	改訂版	現行版
13	<p>○指導ポイント</p> <p>□常に指導ポイントを明確にする。</p> <p>□実習を通して『効果的なフィードバック』について理解し実践する。 フィードバックとは、“受講者の理解と技術を向上させるための”情報伝達である。</p> <p>□Core skill*の過ち → その場で指摘し修正を促すか、中断させて再考を促す。 * Core skill:スキルチェックシートに記載されている手技</p> <p>□Minor skill の過ち → 練習終了後に再考を促し、その後に練習を促す。</p> <p>○注意事項</p> <p>□指導ポイントを明確にする。</p> <p>□インストラクター候補生を困らせるだけの「演技」に陥らないように</p>	<p>【指導ポイント】</p> <p>□常に指導ポイントを明確にする。</p> <p>□実習を通して「効果的なフィードバック」について理解し実践する。 フィードバックとは、“受講者の理解と技術を向上させるための”情報伝達である。</p> <p><u>☑明確(具体的)</u></p> <p><u>☑簡潔</u></p> <p><u>☑適切なタイミング</u></p> <p><u>☑理由(エビデンス)を提示する</u></p> <p><u>☑受講者の背景を考慮する</u></p> <p><u>☑否定的な言動や威圧的な態度は避ける</u></p> <p><u>☑すべての受講者を対象とする</u></p> <p>□Core skill※の過ち → その場で指摘し修正を促すか、中断させて再考を促す。 (※Core skill:スキルチェックシートに記載されている手技)</p> <p>□Minor skill の過ち → 練習終了後に再考を促し、その後に練習を促す。</p> <p>【注意事項】</p> <p>□指導ポイントを明確にする。</p> <p>□インストラクター候補生を困らせるだけの「演技」に陥らないように</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>する。</p> <p><input type="checkbox"/>時間を厳守する。</p>	<p>する。</p> <p><input type="checkbox"/>時間を厳守する。</p>
14	<p>○進行例</p> <p>1.ステーションの目的と進行方法を伝える。 「このセッションの目標は、効果的な BLS の指導方法を理解し実践できるようになって頂くことであり、私が受講者となり皆様はインストラクターとして実際に BLS の指導を行って頂きます。」 「1 人 2 分で指導し、その後指導方法についてみんなでディスカッションをして頂きます。」</p> <p>2.各自の指導内容を伝える。 「インストラクター候補生 1 にはバッグ・バルブ・マスク換気、インストラクター候補生 2・3 には胸骨圧迫、インストラクター候補生 4 には一連の CPR、インストラクター候補生 5 には AED の操作方法、インストラクター候補生 6 にはスキルチェックとフィードバックをそれぞれ指導して頂きます。」</p> <p>3.インストラクター候補生 1 より実習を開始する。 「それではやってみましょう。」</p> <p>4.実習終了後、インストラクター役から感想を聞きつつ、指導ポイントの確認を行う。 「お疲れ様でした。どのような所に注意して指導しましたか？」 「先程の指導を見た感想は如何でしたか？」</p>	<p>【<u>進行方法の一例</u>】</p> <p>1. ステーションの目的と進行方法を伝える。 「このセッションの目標は、効果的な BLS の指導方法を理解し実践できるようになって頂くことであり、私が受講者となり皆様はインストラクターとして実際に BLS の指導を行って頂きます。」 「1 人 2 分で指導し、その後指導方法についてみんなでディスカッションをして頂きます。」</p> <p>2. 各自の指導内容を伝える。 「インストラクター候補生 1 にはバッグ・バルブ・マスク換気、インストラクター候補生 2・3 には胸骨圧迫、インストラクター候補生 4 には一連の CPR、インストラクター候補生 5 には AED の操作方法、インストラクター候補生 6 にはスキルチェックとフィードバックをそれぞれ指導して頂きます。」</p> <p>3. インストラクター候補生 1 より実習を開始する。 「それではやってみましょう。」</p> <p>4. 実習終了後、インストラクター役から感想を聞きつつ、<u>重要</u>ポイントの確認を行う。 「お疲れ様でした。どのような所に注意して指導しましたか？」 「先程の指導を見た感想は如何でしたか？」</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>5. 終了後にインストラクター役/残りの受講者から感想を聞きつつ、ホワイトボードに明記された『指導のポイント』が実行できていたか、フィードバックは適切であったかを検証する。 「教えてみていかがでしたか?」「何か気を使ったことはありますか?」 「インストラクションを見ていてどうでしたか?」「何か気になったことはありますか?」</p> <p>6.3~5 を再度繰り返す。 「次の方に指導して頂きます。」</p> <p>7. 『指導のポイント』と「まとめ」を説明する。</p> <p>8. 質疑応答。</p>	<p>5. 終了後にインストラクター役/残りの受講者から感想を聞きつつ、ホワイトボードに明記された重要ポイントが実行できていたか、フィードバックは適切であったかを検証する。 「教えてみていかがでしたか?何か気を使ったことはありますか?」 「インストラクションを見ていてどうでしたか?何か気になったことはありますか?」</p> <p>6. <u>担当を交代し</u>、3-5 を再度繰り返す。 「次の方に指導して頂きます。」</p> <p>7. 「重要ポイント」と「まとめ」を説明する。</p> <p>8. 質疑応答</p>
15	<p>VIII ALS の指導法(ロールプレイ方式) 実技 40分</p> <p>○目標</p> <p>□効果的な ALS の指導方法を理解・実践できる。</p> <p>○準備するもの</p> <p>□患者シミュレーター □ バッグ・バルブ・マスク</p> <p>□マニュアル除細動器</p> <p>□輸液セット □ 薬剤(アドレナリン・シリンジ等) □ 気管挿管セット</p> <p>○進行</p> <p>□インストラクター候補生をプレゼンター、オペレーター、チェッカー、</p>	<p>VIII ALS の指導法(ロールプレイ方式) 実技 70分</p> <p>【目標】</p> <p>■効果的な ALS の指導方法を理解・実践できる。</p> <p>【準備するもの】</p> <p>□患者シミュレーター □バッグ・バルブ・マスク</p> <p>□マニュアル除細動器 □輸液セット</p> <p>□気管挿管セット □ 薬剤(アドレナリン・シリンジ等)</p> <p>【進行】</p> <p>□インストラクター候補生をプレゼンター、オペレーター、チェッカー、受</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>受講者役 1・2・3 に振り分ける(トレーナーがリーダー役を担当するか、インストラクター候補生に仕込んでリーダー役をさせる)。</p> <p>役割 内容</p> <p>プレゼンター シナリオ提示、進行、スキルチェック、フィードバック</p> <p>オペレーター シミュレーター操作</p> <p>チェッカー スキルチェックシートを用いた評価</p> <p>受講者役 1・2(・3) リーダーの指示に従う</p> <p>□プレゼンター、オペレーター、チェッカーの3名でシナリオと指導ポイントを確認する(1分)。</p> <p>※シナリオ想定は下記波形に矛盾しないことを前提とし、指導要綱のものを使用してもよいし、オリジナルのものでもよい。</p> <p>□シナリオ実習(5分)+フィードバック(2分)</p> <p>役割 内容</p> <p>受講者役 1 VF 電氣的除細動を忘れる</p> <p>受講者役 2 Fine VF Asystole として対処する</p> <p>受講者役 3 PEA 薬剤を忘れる</p> <p>受講者役 4 PEA 鑑別診断ができない</p> <p>受講者役 5 Asystole Asystole で電氣的除細動を施行</p> <p>受講者役 6 無脈性 VT→PEA 誤りが無い</p> <p>□実習終了後、指導についてディスカッション(2分)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオ設定 ・進行方法 ・フィードバック 	<p>講者役 1・2・3 に振り分ける。(トレーナーがリーダー役を担当するか、インストラクター候補生に仕込んでリーダー役をさせる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンター :シナリオ提示、進行、スキルチェック、フィードバック ・オペレーター :シミュレーター操作 ・チェッカー :スキルチェックシートを用いた評価 ・受講者役 1・2(・3) :リーダーの指示に従う。 <p>□プレゼンター、オペレーター、チェッカーの3名でシナリオと指導ポイントを確認する(1分)。</p> <p>※シナリオ想定は下記波形に矛盾しないことを前提とし、指導要綱のものを使用してもよいし、オリジナルのものでもよい。</p> <p>□シナリオ実習(5分)+フィードバック(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者役 1-VF (電氣的除細動を忘れる) ・受講者役 2-Fine VF (Asystole として対処する) ・受講者役 3-PEA (薬剤を忘れる) ・受講者役 4-PEA (鑑別診断ができない) ・受講者役 5-Asystole (Asystole で電氣的除細動を施行) ・受講者役 6-無脈性 VT→PEA (誤りが無い) <p>□実習終了後、指導についてディスカッション(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>シナリオ設定 <input checked="" type="checkbox"/>進行方法 <input checked="" type="checkbox"/>フィードバック

頁	改訂版	現行版
	<ul style="list-style-type: none"> ・時間管理 ・シナリオ(状況設定)が適切である。 <p><input type="checkbox"/>まとめ</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>時間管理</p> <p><input type="checkbox"/>まとめ</p>
16	<p><input type="checkbox"/>指導ポイント</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステーション全体を管理する。 ・適切なシナリオを提示し進行する。 ・スキルチェックシートを用いて受講者のスキルをチェックする。 ・シナリオのポイントを受講者に伝える。 ・適切なフィードバックを行う。 ・常に指導ポイントを明確にする。 <p><input type="checkbox"/>オペレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオに応じて適切にシミュレーターを操作する。 <p><input type="checkbox"/>チェッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習時にスキルチェックシートを用いて評価を行う。 <p><input type="checkbox"/>注意事項</p> <p><input type="checkbox"/>指導ポイントを明確にする(知識や技術に関するディスカッションする時間ではない)。</p> <p><input type="checkbox"/>指導方法について学ぶ時間であることを忘れず、進行やフィードバックについて評価・検討する。</p>	<p>【指導ポイント】</p> <p><input type="checkbox"/>プレゼンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>ステーション全体を管理する。 <input checked="" type="checkbox"/>適切なシナリオを提示し進行する。 <input checked="" type="checkbox"/>スキルチェックシートを用いて受講者のスキルをチェックする。 <input checked="" type="checkbox"/>シナリオのポイントを受講者に伝える。 <input checked="" type="checkbox"/>適切なフィードバックを行う。 <input checked="" type="checkbox"/>常に指導ポイントを明確にする。 <p><input type="checkbox"/>オペレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>シナリオに応じて適切にシミュレーターを操作する。 <p><input type="checkbox"/>チェッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>実習時にスキルチェックシートを用いて評価を行う。 <p>【注意事項】</p> <p><input type="checkbox"/>指導ポイントを明確にする。(知識や技術に関するディスカッションする時間ではない。)</p> <p><input type="checkbox"/>指導方法について学ぶ時間であることを忘れず、進行やフィードバックについて評価・検討する。</p>

頁	改訂版	現行版
	□時間を厳守する。	□時間を厳守する。
17	<p>IX内科救急総論・心停止への対応② 指導手順 座学 20分</p> <p>○目標</p> <p>□JMECCにおける「内科救急総論」および「心停止への対応②(内科救急から心停止へ)」の指導方法を理解する。</p> <p>○進行</p> <p>スライドを用いて以下の事項を解説する。</p> <p>□内科救急総論について</p> <p>□目的:「救急患者(非心停止)に対する共通したアプローチを理解する。」</p> <p>□JMECCでは7症例を選出し、重症な状態に対する初期アプローチを共通理念としてテキストに提示している。</p> <p>□第一印象と初期 ABCD 評価により「重症感あり」と判断した場合、酸素投与・静脈路確保・モニター装着から二次 ABCD 評価を実施し、鑑別診断・初期治療・専門医への引継ぎまでを、迅速かつ適切に対処することを推奨している。</p> <p>□心停止への対応②(内科救急から心停止へ)について</p> <p>□目的:「代表的な内科救急の病態に対して適切なアプローチを理解し実施できる」</p> <p>「予期せぬ心停止に対して迅速かつ適切な一次/二次救命処置が実施できる」</p> <p>時間:130分</p>	<p>IX 内科救急総論・心停止への対応②指導手順 座学 20分</p> <p>【目標】</p> <p>■JMECCにおける「内科救急総論」および「心停止への対応②(内科救急から心停止へ)」の指導方法を理解する。</p> <p>【進行】スライドを用いて以下の事項を解説する。</p> <p>□内科救急総論について:</p> <p>◆目的:「救急患者(非心停止)に対する共通したアプローチを理解する。」</p> <p>・JMECCでは7症例を選出し、重症な状態に対する初期アプローチを共通理念としてテキストに提示している。</p> <p>◆第一印象と初期 ABCD 評価により「重症感あり」と判断した場合、酸素投与・静脈路確保・モニター装着から二次 ABCD 評価を実施し、鑑別診断・初期治療・専門医への引継ぎまでを、迅速かつ適切に対処することを推奨している。</p> <p>□心停止への対応②(内科救急から心停止へ)について:</p> <p>◆目的:「代表的な内科救急の病態に対して適切なアプローチを理解し実施できる」</p> <p>「予期せぬ心停止に対して迅速かつ適切な一次/二次救命処置が実施できる」</p> <p>時間:130分</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>□「目的の提示」「映像視聴(45分)」「実習(75分)」「まとめ」を効果的に進行する。</p> <p>□内科救急総論を視聴した後、「Scenario 総論」から実習を開始する。 次いで「Case #1」を供覧し、「Scenario#1」で実習を行う。 以下、「Case #2」を供覧し、「Scenario #2」で実習、「Case #3」供覧、「Scenario #3」実習…と続く(Case 6は供覧のみ)。</p> <p>□画面上の「Scenario 総論」をクリックすると、導入映像が開始する。</p> <p>□導入映像視聴後シナリオ実習を開始し、必要に応じて「バイタルサイン」「12誘導心電図」などのデータを提示する。</p>	<p>◆「目的の提示」「映像視聴(45分)」「実習(75分)」「まとめ」を効果的に進行する。</p> <p>◆内科救急総論を視聴した後、Scenario 総論から実習を開始する。 次いで Case #1 を供覧し、Scenario#1 で実習を行う。 以下、Case #2 供覧- Scenario #2 実習、Case #3 供覧- Scenario #3 実習…と続く。(Case 6は供覧のみ)。</p> <p>◆画面上の「Scenario 総論」をクリックすると、導入映像が開始する。</p> <p>◆導入映像視聴後シナリオ実習を開始し、必要に応じて「バイタルサイン」「12誘導心電図」などのデータを提示する。</p>
18	<p>○注意事項</p> <p>□指導ポイントを明確にする。</p> <p>□インストラクター候補生の知識・経験を尊重しつつ指導ポイントの習得を促進させる。</p> <p>□指導要綱・テキストから逸脱しない。</p> <p>○実技評価について</p> <p>□目的:「実技評価を通じて、実習内容を復習する。」</p> <p>□代表的な内科救急の病態に対する適切なアプローチを理解し実施できる。</p> <p>□予期せぬ心停止に対して迅速かつ適切な一次/二次救命処置を実施できる。</p>	<p>◆注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導ポイントを明確にする ・インストラクター候補生の知識・経験を尊重しつつ指導ポイントの習得を促進させる。 ・指導要綱・テキストから逸脱しない。 <p>□実技評価について:</p> <p>◆目的:「実技評価を通じて、実習内容を復習する。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な内科救急の病態に対する適切なアプローチを理解し実施できる。 ・予期せぬ心停止に対して迅速かつ適切な一次/二次救命処置を実施できる。

頁	改訂版	現行版
	<input type="checkbox"/> チェックシート <input type="checkbox"/> JMECC 到達目標が明記されたシートである。 <input type="checkbox"/> 実習時に記入し、フィードバックを行う際に活用する。 <input type="checkbox"/> 必要であれば“ポイントを絞った実習”を復習として行う。	◆ チェックシート ・JMECC 到達目標が明記されたシートである。 ・実習時に記入し、フィードバックを行う際に活用する。 ・必要であれば“ポイントを絞った実習”を復習として行う
19	X ケース、シナリオのディスカッションとロールプレイ実技 130 分 ○目標 <input type="checkbox"/> 効果的な JMECC の指導方法を理解・実践できる。 ・映像教材による 7 ケースのディスカッションポイントを理解する。 ・内科救急診療から心停止に至るシナリオ進行を実践できるようにする。 ○準備するもの <input type="checkbox"/> 患者シミュレーター <input type="checkbox"/> バッグ・バルブ・マスク <input type="checkbox"/> マニュアル除細動器 <input type="checkbox"/> 輸液セット <input type="checkbox"/> 気管挿管セット <input type="checkbox"/> チェックシート ○進行 <input type="checkbox"/> インストラクター候補生をプレゼンター、オペレーター、チェッカー、受講者役 1・2・3 に振り分ける(トレーナーがリーダー役を担当するか、インストラクター候補生に仕込んでリーダー役をさせる)。 役割 内容 プレゼンター シナリオ提示、進行、スキルチェック、フィードバック オペレーター シミュレーター操作 チェッカー スキルチェックシートを用いた評価 受講者役 1・2(・3) リーダーの指示に従う	X ケース、シナリオのディスカッションとロールプレイ実技 130 分 【目標】 ■ 効果的な JMECC の指導方法を理解・実践できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 映像教材による 7 ケースのディスカッションポイントを理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 内科救急診療から心停止に至るシナリオ進行を実践できるようにする。 【準備するもの】 <input type="checkbox"/> 患者シミュレーター <input type="checkbox"/> バッグ・バルブ・マスク <input type="checkbox"/> マニュアル除細動器 <input type="checkbox"/> 輸液セット <input type="checkbox"/> 気管挿管セット <input type="checkbox"/> チェックシート 【進行】 <input type="checkbox"/> インストラクター候補生をプレゼンター、オペレーター、チェッカー、受講者役 1・2・3 に振り分ける。(トレーナーがリーダー役を担当するか、インストラクター候補生に仕込んでリーダー役をさせる) ・プレゼンター :シナリオ提示、進行、スキルチェック、フィードバック ・オペレーター :シミュレーター操作 ・チェッカー :スキルチェックシートを用いた評価 ・受講者役 1・2(・3) :リーダーの指示に従う。

頁	改訂版	現行版
	<p><input type="checkbox"/>プレゼンター、オペレーター、チェッカーの3名でシナリオと指導ポイントを確認する（2分）。</p> <p><input type="checkbox"/>シナリオ実習（8分）＋フィードバック（3分）</p> <p>役割 内容</p> <p>受講者役1 急性冠症候群 受講者役2 敗血症 受講者役3 気管支喘息 受講者役4 脳卒中 受講者役5 薬物中毒 受講者役6 アナフィラキシー</p> <p><input type="checkbox"/>実習終了後、指導についてディスカッション（3分）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオ設定 ・進行方法 ・フィードバック ・時間管理 <p><input type="checkbox"/>まとめ</p>	<p><input type="checkbox"/>プレゼンター、オペレーター、チェッカーの3名でシナリオと指導ポイントを確認する（2分）。</p> <p><input type="checkbox"/>シナリオ実習（8分）＋フィードバック（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者役1-急性冠症候群 ・受講者役2-敗血症 ・受講者役3-気管支喘息 ・受講者役4-脳卒中 ・受講者役5-薬物中毒 ・受講者役6-アナフィラキシー <p><input type="checkbox"/>実習終了後、指導についてディスカッション（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>シナリオ設定 <input checked="" type="checkbox"/>進行方法 <input checked="" type="checkbox"/>フィードバック <input checked="" type="checkbox"/>時間管理 <input type="checkbox"/>まとめ
20	<p>○指導ポイント</p> <p><input type="checkbox"/>映像教材ケース進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問に対するディスカッションでは指導ポイントを簡潔かつ明確にする。 ・各ケースのポイントをテキスト「内科救急診療指針」に照らし合わせて理解を深める。 ・ディスカッションが遷延化しないように注意する。 	<p>【指導ポイント】</p> <p><input type="checkbox"/>映像教材ケース進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>設問に対するディスカッションでは指導ポイントを簡潔かつ明確にする。 <input checked="" type="checkbox"/>各ケースのポイントをテキスト「内科救急診療指針」に照らし合わせて理解を深める。 <input checked="" type="checkbox"/>ディスカッションが遷延化しないように注意する。

頁	改訂版	現行版
	<p>・常に指導ポイントを明確にする。</p> <p>□シナリオ実習</p> <p>・映像教材やテキストから得た知識をもとに、患者シミュレーターを用いてトレーニングすることを強調する。</p> <p>・モニターデータだけを見たディスカッションにならないように注意する。</p> <p>・内科救急対応～心停止対応まで円滑な進行を心がける。</p> <p>・症例に応じて、インストラクターは身体所見や病歴などを随時提示する。</p> <p>・常に指導ポイントを明確にする。</p> <p>○注意事項</p> <p>□指導ポイントを明確にする(知識や技術に関するディスカッションする時間ではない)。</p> <p>□指導方法について学ぶ時間であることを忘れず、進行やフィードバックについて評価・検討する。</p> <p>□時間を厳守する。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>常に指導ポイントを明確にする。</p> <p>□シナリオ実習</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>映像教材やテキストから得た知識をもとに、患者シミュレーターを用いてトレーニングすることを強調する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>モニターデータだけを見たディスカッションにならないように注意する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>内科救急対応～心停止対応まで円滑な進行を心がける。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>症例に応じて、インストラクターは身体所見や病歴などを随時提示する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>常に指導ポイントを明確にする。</p> <p>【注意事項】</p> <p>□指導ポイントを明確にする。(知識や技術に関するディスカッションする時間ではない)。</p> <p>□指導方法について学ぶ時間であることを忘れず、進行やフィードバックについて評価・検討する。</p> <p>□時間を厳守する。</p>
21	<p>XI 資器材の撤収方法 実技 10分</p> <p>○目標</p> <p>□資器材を安全かつ適切に撤収できる。</p> <p>○進行</p> <p>□コースでを使用した資器材を過不足や破損の有無を確認しつつ撤収する。</p>	<p>XI 資器材の撤収方法 実技 10分</p> <p>【目標】</p> <p>■資器材を安全かつ適切に撤収できる。</p> <p>【進行】</p> <p>□コースでを使用した資器材を過不足や破損の有無を確認しつつ撤収する。</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>・患者シミュレーター ・マニュアル除細動器 ・輸液セット ・気管挿管セット ・資器材チェックリスト</p> <p>○注意事項 <input type="checkbox"/> 軽視されることが多いが、健全なコース運営のためには重要であることを強調し、確実な撤収を实践させる。 <input type="checkbox"/> 紛失、破損については必ずブース長およびディレクターに報告する。</p> <p>—参考— 本会主催（日内会館）コースでは、ブースの原状回復をお願いしております。 初期状態（資器材使用前）の写真などを参考に原状回復を实践させます。 （予め、受講者に撮影させても良い）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 患者シミュレーター <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル除細動器 <input checked="" type="checkbox"/> 点滴セット <input checked="" type="checkbox"/> 気管挿管セット <input checked="" type="checkbox"/> 資器材チェックリスト</p> <p>【指導ポイント】 <input type="checkbox"/> <u>健全なコース運営には、健全な資器材管理が不可欠であることを強調する。</u> <input type="checkbox"/> <u>必ず資器材の過不足や破損の有無を確認する。</u></p> <p>【注意事項】 <input type="checkbox"/> 軽視されることが多いが、健全なコース運営のためには重要であることを強調し、確実な撤収を实践させる。 <input type="checkbox"/> 紛失、破損については必ずブース長およびディレクターに報告する。</p>
22	XII 質疑応答、閉会 座学 10分 ○目標	XII 質疑応答、閉会 座学 10分 【目標】

頁	改訂版	現行版
	<p>□インストラクター候補生の疑問や不明瞭な事項を全員で共有・検討し、行動指針を明瞭にする。</p> <p>○進行</p> <p>□インストラクター候補生から疑問や不明瞭な事項を聴取する。</p> <p>□参加者全員で検討し、行動指針を明瞭にする。</p> <p>□スライドを用いて以下の事項について参加者全員で検討する。</p> <p>①「コースでは○○と習いましたが、最新の米国ガイドラインでは△△となっています。」</p> <p>◀ 対応例 ▶</p> <p>□受領する。</p> <p>□本コースの元となっているガイドラインを提示する。</p> <p>□学会として内容を検討することを伝える。</p> <p>②実習終了間際の受講者からの質問</p> <p>◀ 対応例 ▶</p> <p>□拝聴し、要約して解答する(時間厳守)。</p> <p>□休憩時間に解答することを考慮する。</p> <p>□「1対1」のディスカッションにならないように注意する。</p> <p>③練習しても到達目標に達しない受講者</p> <p>◀ 対応例 ▶</p> <p>□指導ポイントを絞る。</p> <p>□必要であれば休憩時間を利用する。</p>	<p>■インストラクター候補生の疑問や不明瞭な事項を全員で共有・検討し、行動指針を明瞭にする。</p> <p>【進行】</p> <p>□インストラクター候補生から疑問や不明瞭な事項を聴取する。</p> <p>□参加者全員で検討し、行動指針を明瞭にする。</p> <p>□スライドを用いて以下の事項について参加者全員で検討する。</p> <p>①「コースでは○○と習いましたが、最新の米国ガイドラインでは△△となっています。」</p> <p>(対応例)</p> <p>・受領する。</p> <p>・本コースの元となっているガイドラインを提示する。</p> <p>・学会として内容を検討することを伝える。</p> <p>②実習終了間際の受講者からの質問</p> <p>(対応例)</p> <p>・拝聴し、要約して解答する(時間厳守)。</p> <p>・休憩時間に解答することを考慮する。</p> <p>・「1対1」のディスカッションにならないように注意する。</p> <p>③練習しても到達目標に達しない受講者</p> <p>(対応例)</p> <p>・指導ポイントを絞る。</p> <p>・必要であれば休憩時間を利用する。</p>

頁	改訂版	現行版										
23	<p>□JMECC インストラクター資格取得までのフローチャート</p> <p>A.ICLS インストラクター資格を取得していない場合</p> <p>1)JMECC ならびに JMECC 指導者講習会を受講し、JMECC コースに 2 回以上アシスタントインストラクターとして参加・指導する。</p> <p>2)さらに ICLS または JMECC コースに 1 回以上(つまり、JMECC を含めて合計 3 回)アシスタントインストラクターとして参加・指導し、ICLS ディレクターの推薦を得ることで ICLS インストラクターとして申請できる。</p> <p>3)ICLS インストラクター資格取得後に JMECC インストラクターに申請できる。</p> <p>※ICLS インストラクター認定更新の際には更新料が発生します。</p> <p>B.既に ICLS インストラクター資格を取得している場合</p> <p>1)JMECC コースに 2 回以上アシスタントインストラクターとして参加・指導することで JMECC インストラクターとして申請できる。</p> <p>2)なお、当面は ICLS ディレクター有資格者で、かつ 2 年以内に ICLS コース開催歴がある場合に限り(ディレクター見習いは不可)、指導者講習会受講とアシスタントインストラクター経験 1 回にて JMECC インストラクターとして認定する。</p> <p>□JMECC 指導体系</p> <table border="0"> <tr> <td>役割</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td>ディレクター</td> <td>コース内すべてを管理する</td> </tr> <tr> <td>ブース長</td> <td>ブース内すべてを管理する</td> </tr> </table>	役割	内容	ディレクター	コース内すべてを管理する	ブース長	ブース内すべてを管理する	<p>□JMECC インストラクター資格取得までのフローチャート</p> <p>・JMECC ならびに JMECC <u>インストラクターコース</u>を受講し、JMECC コースに 2 回以上アシスタントインストラクターとして参加・指導する。</p> <p>さらに <u>ICLS(JMECC でも可)コース</u>に 1 回以上(JMECC を含めて合計 3 回)アシスタントインストラクターとして参加・指導し、ICLS ディレクターの推薦を得ることで ICLS インストラクターとして申請できる。 (<u>日本救急医学会:2013 年 4 月 1 日付けて新申請基準に変更</u>)</p> <p>ICLS インストラクター資格取得後に JMECC インストラクターに申請できる。</p> <p>・<u>すでに ICLS インストラクター資格を有する場合は、JMECC インストラクターコースを受講し、JMECC コースに 2 回以上アシスタントインストラクターとして参加・指導することで JMECC インストラクターとして申請できる。</u></p> <p>なお、当面は ICLS ディレクター有資格者で、かつ 2 年以内に ICLS コース開催歴がある場合に限り(<u>サブディレクター</u>は不可)、指導者講習会受講とアシスタントインストラクター経験 1 回にて JMECC インストラクターとして認定する。</p> <p>□JMECC 指導体系</p> <table border="0"> <tr> <td>・ディレクター</td> <td>-コース内すべてを管理する</td> </tr> <tr> <td>・ブース長</td> <td>-ブース内すべてを管理する</td> </tr> </table>	・ディレクター	-コース内すべてを管理する	・ブース長	-ブース内すべてを管理する
役割	内容											
ディレクター	コース内すべてを管理する											
ブース長	ブース内すべてを管理する											
・ディレクター	-コース内すべてを管理する											
・ブース長	-ブース内すべてを管理する											

頁	改訂版	現行版
	<p>JMECC インストラクター JMECC すべての指導にあたる ICLS インストラクター ICLS 部分の指導にあたる アシスタントインストラクター インストラクション研修を経験する ※指導者全員が協調して指導にあたり、質の高い講習会とすることが重要である。</p> <p>□JMECC 指導の原則</p> <p>①ブース長はインストラクターを統括し、受講者の学習の質を保証する責任を担う。時間進行管理、学習環境への配慮、経験の少ないインストラクターへのサポート、育成をする。ブース長は JMECC インストラクターが務めなければならない。</p> <p>②インストラクターはブース長の指示のもとで受講者を指導し、指導内容の質の向上に努める。</p> <p>③チーム蘇生の実践を目的に、インストラクター同士が協調して指導を行う。</p> <p>④アシスタントインストラクターはブース長の指示のもとで指導を行い、質の高い指導方法を習得する。</p> <p>○注意事項</p> <p>□「JMECC の目的」、「インストラクターの意義や重要性」をしっかりと理解させる。</p> <p>□□時間を厳守する。</p>	<p>・JMECC インストラクター -JMECC すべての指導にあたる ・ICLS インストラクター -ICLS 部分の指導にあたる ・アシスタントインストラクター -インストラクション研修を経験する 指導者全員が協調して指導にあたり、質の高い講習会とすることが重要である。</p> <p>□JMECC 指導の原則</p> <p>①ブース長はインストラクターを統括し、受講者の学習の質を保証する責任を担う。時間進行管理、学習環境への配慮、経験の少ないインストラクターへのサポート、育成をする。ブース長は JMECC インストラクターが務めなければならない。</p> <p>②インストラクターはブース長の指示のもとで受講者を指導し、指導内容の質の向上に努める。</p> <p>③チーム蘇生の実践を目的に、インストラクター同士が協調して指導を行う</p> <p>④アシスタントインストラクターはブース長の指示のもとで指導を行い、質の高い指導方法を習得する。</p> <p>【注意事項】</p> <p>□「JMECC の目的」「インストラクターの意義や重要性」をしっかりと理解させる。</p> <p>□時間を厳守する。</p>
24	JMECC インストラクター・アシスタントインストラクターの 方 へ	《JMECC インストラクター・アシスタントインストラクターの <u>方々</u> へ》

頁	改訂版	現行版
	<p>インストラクター心得</p> <p>既にご承知のことと思いますが、下記(指導者講習会での説明を抜粋)をご理解いただき、当日を楽しく有意義な JMECC にしていただきたいと思います。</p> <p>1.JMECC の目的を理解します。</p> <p>a.突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生を習得する(=ICLS)。</p> <p>b.日常臨床で遭遇する予期せぬ容態悪化に対応する能力を実践型教育によって習得する(=JMECC:救急患者(非心停止)に対する共通したアプローチを理解する)。</p> <p>c.1 日通して ICLS を実践する。</p> <p>2.コースにおける インストラクターの「役割」を理解します。 コースにおける インストラクターの「重要性」を理解します。 ※JMECC コースの成否は、インストラクターに依存します。</p> <p>3.成人教育手法を用いた効果的な指導を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> □“一方的に情報を伝達する”指導ではありません。 □“受講者の学習を促進する”指導を実践します。 □学習目標を明確に提示します。 □受講者の知識や経験を尊重します。 □効果的なフィードバックを実践します。 □否定的な言動や威圧的態度をとりません。 □時間を有効的に活用します。/ 時間を厳守します。「目的」-「実習」- 	<p>-インストラクター心得-</p> <p>すでにご承知のことと思いますが、下記(指導者講習会での説明の抜粋)をご理解いただき、当日を楽しく有意義な JMECC にしていただきたいと思います。</p> <p>1. JMECC の目的を理解します。</p> <p>a. 突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生を習得する(=ICLS)。</p> <p>b. 日常臨床で遭遇する予期せぬ容態悪化に対応する能力を実践型教育によって習得する。 =JMECC:救急患者(非心停止)に対する共通したアプローチを理解する。</p> <p>2. コースにおけるインストラクターの「役割」を理解します。 コースにおけるインストラクターの「重要性」を理解します。 ※JMECC コースの成否は、インストラクターに依存します。</p> <p>3. 成人教育手法を用いた効果的な指導を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“一方的に情報を伝達する”指導ではありません。 ・“受講者の学習を促進する”指導を実践します。 ・学習目標を明確に提示します。 ・受講者の知識や経験を尊重します。 ・効果的なフィードバックを実践します。 ・否定的な言動や威圧的態度をとりません。 ・時間を厳守します。

頁	改訂版	現行版
	<p>「まとめ」</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 受講者の実習に多くの時間を費やします。 □ 良い体験、良い印象、説明より実習 ⇒ 記憶の定着率が高い <p>4. 注意事項</p> <p>a. 指導要綱・テキストを遵守します。=“個人”の治療方針を教える場ではありません。</p> <p>① JMECC 指導要綱</p> <p>② 内科救急診療指針 2022 (2022 年 日本内科学会)</p> <p>③ 改訂版第 4 版日本救急医学会 ICLS コースガイドブック (2016 年 羊土社)</p> <p>b. 指導内容を熟知します (事前学習を行います)。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 単に上記に目を通すだけでは不十分です。 <p>c. 誤りを教えたり、誤魔化したりしてはいけません。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 判らないことなどがあれば、ディレクターに相談してください。 <p>d. 不用意なボディタッチや威圧的言動を避けてください。</p> <p>e. JMECC は病態や治療方法に関して検討・議論することを目的とはしていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者の実習に多くの時間を費やします。 ・ 良い体験、良い印象、説明より実習 ⇒ 記憶の定着率が高い <p>4. 注意事項</p> <p>a. 指導要綱・テキストを遵守します。=“個人”の治療方針を教える場ではありません。</p> <p>1) JMECC 指導要綱</p> <p>2) 日本内科学会 内科救急診療指針 2016(2016 年日本内科学会)</p> <p>3) 日本救急医学会 ICLS コースガイドブック 改訂第 4 版 (2016 年羊土社)</p> <p>b. 指導内容を熟知します(事前学習を行います)。</p> <p>=単に上記に目を通すだけでは不十分です。</p> <p><u>*受講者の顔を見ての指導を心がけ、指導要綱を手に持った指導はしないようにしてください。ただし、指導要綱を一語一句正確に引用してもらいたいという意味ではありません。</u></p> <p>c. 誤りを教えたり、ごまかしたりしてはいけません。</p> <p>判らないことなどがあれば、ディレクターに相談してください。</p> <p>d. 不用意なボディタッチや威圧的言動を避けてください。</p> <p>e. JMECC は病態や治療方法に関して検討・議論することを目的とはしていません。</p>
25	<p>JMECC ブース長の方へ</p> <p>ブース長心得</p> <p>インストラクター心得を基本として更に、</p>	<p>《JMECC ブース長の方々へ》</p> <p>-ブース長心得-</p> <p>※インストラクター心得を基本として更に、</p>

頁	改訂版	現行版
	<p>(1) インストラクターを統括します。 (2) 受講者の学習の質を保障する責任を負います。 (3) 時間進行管理を行います。 (4) 学習環境への配慮を行います。 (5) 経験の少ないインストラクター（アシスタント）をサポートし、育成をします。</p> <p>※インストラクターの経験を十分積まれた方がブース長になることが望ましい。</p> <p>JMECC ディレクターの方へ</p> <p>ディレクター心得 ブース長心得を基本として更に、</p> <p>(1) JMECC 開催責任を負い、企画・準備を行います。 (2) コースの質を保障し、指導要綱を遵守して開催を行います。 (3) 標準化（どこのコースでも同じ内容を教えること）に努めます。 (4) ブース長をサポートし、育成をします。 (5) コース終了後には、迅速にコース結果報告・登録を行います。</p> <p>各指導項目の中で、根拠や文献等は成書で調べていただくようお願いいたします。</p>	<p>1. インストラクターを統括します。 2. 受講者の学習の質を保障する責任を負います。 3. 時間進行管理を行います。 4. 学習環境への配慮を行います。 5. 経験の少ないインストラクター(アシスタント)をサポートし、育成します。</p> <p>≪JMECC ディレクターの方々へ≫ -ディレクター心得-</p> <p>※ブース長心得を基本として更に、</p> <p>1. JMECC 開催責任を負い、企画・準備を行います。 2. コースの質を保障し、指導要綱を遵守して開催を行います。 3. 標準化(どこのコースでも同じ内容を教えること)に努めます。 4. ブース長をサポートし、育成します。</p>